

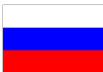
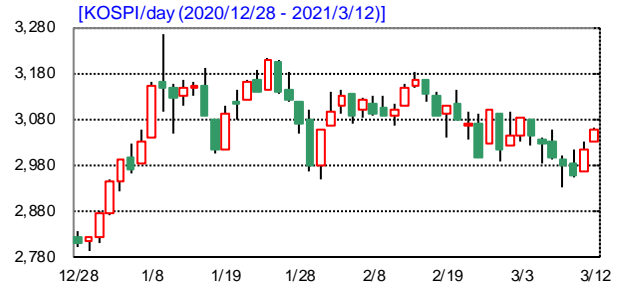


【韓国】 総合指数は週間で0.9%高と続伸、今週は3000ポイントで値固めか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.9%高と続伸。週半ばまでは軟調で、8日に終値で節目の3000ポイントを割り込むと、10日まで5営業日続落。米金利上昇に伴う新興国市場からの資金流出が警戒され、ハイテク関連などのグロース株が売られた。11-12日は一転して続伸。金利懸念が後退した上、韓国の強い輸出統計も投資家心理を支えた。3月1-10日の韓国の輸出額は速報値で前年同期比25.2%増だった。韓国銀行（中央銀行）が11日に公表した金融報告で、金融緩和を続ける方針を示したことも買い安心感につながった。12日終値は今月3日以来の高値となった。今週は3000ポイントで値固めか。ただ、新型コロナウイルス感染が再拡大すれば、景気不透明感で上値が重くなる展開もありそうだ。米長期金利の上昇懸念もくすぶる見通し。

▼指数チャート

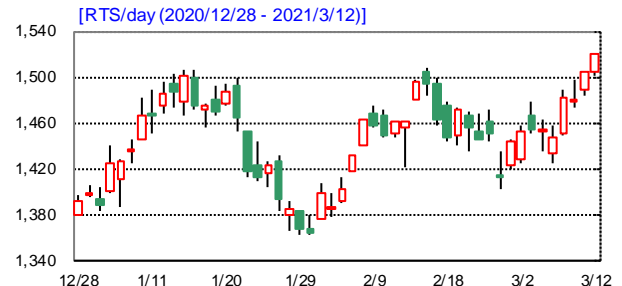


【ロシア】 RTS 指数は5.0%高と大幅続伸、今週は欧米株価をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

王学 RTS 株価指数は週間で5.0%高と大幅に続伸。米国の総額1.9兆ドル規模のコロナ救済法案を好感した海外株高を受けてリスク選好が強まった。3連休明けの9日は、米国のコロナ救済法案成立の見通しを受けてリスクオンの流れが強まり、RTS 指数は前営業日比2.4%の大幅高。10日は小幅に反落したものの、欧米株高の流れを受けて11日に1.7%高、12日も0.9%高と続伸した。指数は12日に1519.50ドルで引け、2020年2月以来の高値を更新した。個別では資源・エネルギー株が上昇し、タトネフチが9.9%高、ノバテクが9.8%高、ノリリスク・ニッケルが6.3%高。時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが2.7%高となった一方、産金のポリュスが2.7%下落した。今週も欧米株価、原油相場をにらんだ展開が続くか。

▼指数チャート

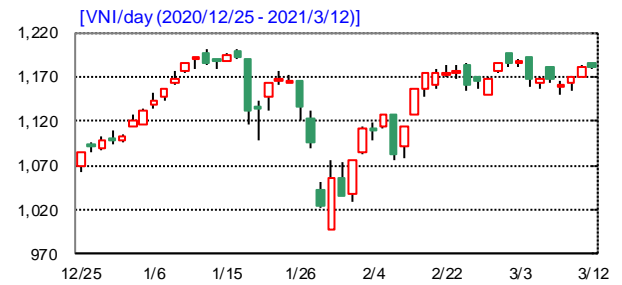


【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.1%高と続伸、今週はもみ合いか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.1%高と続伸。週前半は軟調だったが、海外投資家の売り圧力が弱まったことで週半ば以降に持ち直した。週前半は海外投資家の売りが続き、指数は9日に一時、2月26日以来となる1151ポイントまで下落したが、不動産や金融株に押し目買いが強まったほか、海外投資家の売り圧力が弱まったことも好感され、指数は10-11日に続伸。12日は変わらずとなったが、週間では続伸して終了した。個別では、ゴム製品のベトナム・ラバーが6.4%高となったほか、不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが2.9%高、金融のベトナム投資開発銀行とテクコムバンクがそれぞれ2.2%高。一方、食品加工のマサン・グループが2.1%安、エネルギーのペトロベトナム・ガスが1.5%安となった。今週はもみ合いか。

▼指数チャート

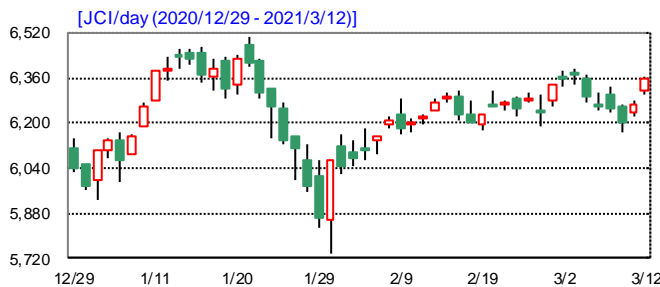


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.6%高、今週は 18 日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 1.6%高と 6 週続伸。週末の上昇が奏功した。週初の 8 日は、原油価格の上昇を受けて世界的にインフレ懸念が広がった影響で、指数は 3 営業日続落。9 日には終値で 1 カ月ぶりに 6200 ポイントを割り込んだが、10 日は米長期金利の再上昇が一服した効果で、前日比 1.0%高と 5 営業日ぶりに反発した。祝日を挟んだ 12 日は前日の NY ダウが過去最高値を更新した流れで買われ、前営業日比 1.5%高と続伸している。今週は 15 日に 2 月の貿易統計が発表されるほか、18 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。政策金利は前回会合で 3.50%に引き下げられている。

▼指数チャート

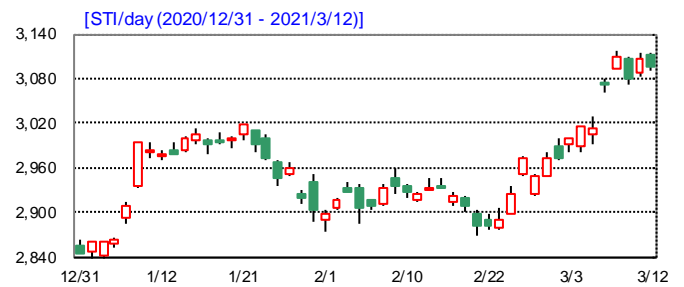


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 2.7%高、グループ再編発表でジャーディン系 2 社に買い

スレーツタイムズ指数は週間で 2.7%高と 3 週続伸。週前半の上昇が奏功した。8 日はグループ再編計画を発表したジャーディン・マセソンと同系列のジャーディン・ストラテジック・ホールディングスが指数上昇をけん引し、前営業日比 1.9%高と反発。9 日は金融株と不動産株が買われ、さらに 1.2%高と終値で 3100 ポイント台に乗せた。10 日は利益確定売りで反落したが、11 日は前日の NY ダウが過去最高値を更新した流れで反発。ただ、12 日は売り買いが交錯する中、反落して引けている。今週は 17 日に 2 月の非石油地場輸出が発表される予定で、市場予想から上振れすれば株式相場の追い風になりそうだ。

▼指数チャート

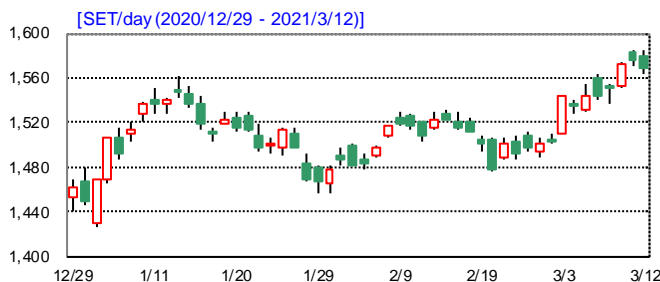


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.6%高、OECD 経済成長率見通しの上方修正を好感

SET 指数は週間で 1.6%高と続伸。おおむね堅調に推移した。週初の 8 日は、前週末に米議会上院で 1 兆 9000 億米ドルの経済対策が可決された効果で指数が上昇する場面もあったが、終値では小幅反落。ただ、9 日に反発すると、10 日は経済協力開発機構 (OECD) が今年の世界経済の成長率見通しを上方修正したことが好感され、指数は前日比 1.4%高と続伸した。11 日も小幅に上値を広げたが、12 日は英アストラゼネカ製の新型コロナワクチンのタイでの接種が見合わせとなった影響などで売られ、4 日ぶりに反落している。今週も国内の重要イベントが少なく、米 FOMC などの外部要因が焦点になりそうだ。

▼指数チャート

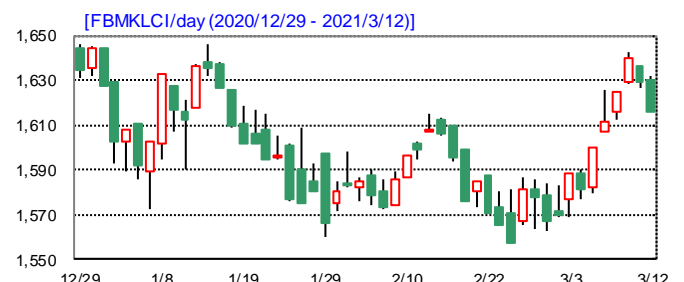


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.0%高、純利益 24 倍のトップ・グローブが値上がり

クアラルンプール総合指数は週間で 1.0%高と続伸。好地合いの中、1 週間を通じて 1600 ポイント台での取引となった。週初の 8 日は、ペトロナス・ケミカルズ・グループが指数上昇をけん引。9 日は 20 年 12 月 - 21 年 2 月期の純利益が前年同期の 24 倍に急増したゴム手袋大手のトップ・グローブのほか、通信のデジ・ドット・コムとアジアタ・グループが買われた。世界的な景気回復期待が高まる中、10 日まで 4 営業日続伸したが、11 日は利益確定売りで反落。12 日は引け際の下落が痛手となり、続落して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開になりそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。